

第20回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

埼玉県母性衛生学会
<http://sbe.umin.jp/>

§ 日 時 平成15年11月7日(金) 13時から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール
さいたま市浦和区仲町3-5-1 電話048-824-4801

司会 馬場一憲 理事

1. 学会長挨拶(13:00) 埼玉県母性衛生学会会長 竹田省

2. 一般演題(13:02~15:57)

周産期管理と看護(13:02~13:44)
座長 馬場一憲(埼玉医科大学総合医療センター)

1) 潰瘍性大腸炎合併妊娠の一症例

獨協医科大学越谷病院産科婦人科

濱田佳伸、矢追正幸、友部勝実、堀中俊孝、榎本英夫、大藏健義

2) 臨床検査技師による妊娠中期超音波スクリーニング - 愛和病院における1年間の成績

愛和病院臨床検査室

関原真紀、野澤直子、竹内久彌、上里忠司、藤田壽太郎

3) 周産期の麻痺罹患への対応 - 3症例をとおして -

防衛医科大学校病院産科病棟

松田明子、高橋由佳、小谷野マミ、大村祐子、小林由美子、上村志津子

4) 当院における、過去5年間の飛び込み分娩の検討

熊谷総合病院分娩室¹⁾、同新生児室²⁾、同産婦人科³⁾

三橋寛子¹⁾、高田和江¹⁾、矢崎美津枝¹⁾、金澤恵美子¹⁾、瀬山澄江¹⁾、
津野ミヨ子¹⁾、上智子²⁾、清水静枝²⁾、芝美代子²⁾、白根裕美子²⁾、
田島知佳子²⁾、鯨井春枝²⁾、中よし子²⁾、高橋通³⁾、佐久間洋³⁾

5) 産後出血による重症貧血より、急性腎不全を起こした一例と呼吸不全を起こした一例

さいたま赤十字病院産婦人科

中村 学、水竹佐知子、宮本純孝、富田初男、安藤昭彦

6) 地域周産期医療センターとしての役割と現状

さいたま市立病院産婦人科

長西美和、谷垣伸治、宮本佳栄、佐藤 卓、池田俊之、矢久保和美、
福井谷達郎

看護・看護教育 (13 : 44 ~ 14 : 19)

座長 山崎トヨ (埼玉医科大学短期大学)

7) 看護教員による妊娠期の健康教育 - 第 1 報 病院の健康まつりと協働して -

埼玉県立大学短期大学部看護学科

坂本めぐみ、兼宗美幸

8) 看護教員による妊娠期の健康教育 - 第 2 報 看護学生と妊婦および夫の意見
の考察 -

埼玉県立大学短期大学部看護学科

兼宗美幸、坂本めぐみ

9) 助産師学生の「問診」技術に対する一考察

埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護学専攻

羽根田公江、楳原洋子、山崎トヨ

10) 患者用パスを用いた看護師の指導に対する褥婦の理解状況

国立西埼玉中央病院産婦人科病棟

栗原香奈子、山中千絵

11) 「安全な助産所分娩のために」マニュアル作りの一考察

日本助産師会埼玉県支部助産所部会開業助産婦

桜井裕子、中島桂子、関根はつみ、阿部淳子、飯島さち子

性教育（14：19～14：40）

座長 青木美子（埼玉県養護教員会）

12) 小学校における性教育の取り組み

春日部市立豊野小学校養護教諭

山田直子

13) 中学校における性教育の取り組み

埼玉大学教育学部附属中学校養護教諭

吉田由美子

14) 高等学校での性教育の実践 - カウンセリング技法を生かした個別指導を実施

しながら -

埼玉県立浦和西高等学校養護教諭

堀田美枝子

精神的ケア・援助（14：40～15：15）

座長 石井牧子（丸山記念総合病院）

15) 胎児異常を診断された家族への援助

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟

佐々木志野、久保田智子、手島幸代、大藏健義

16) 母体搬送された妊婦の看護について - 入院時のストレス調査を実施して -

さいたま市立病院

早川真由美、王美貴、石森佳子

17) 当院における妊産褥婦に対する支援の実際 - 精神的な諸問題を訴える症例に

ついて -

木野産婦人科医院¹⁾、こうぬまクリニック²⁾

嵯峨芳子¹⁾、木野秀郷²⁾、鈴木仁史²⁾

18) 出産後の母親の心理構造（1）

中島産婦人科医院

丸谷充子、中島 洋

19) 死産を体験された患者の現状と援助者の課題

埼玉医科大学附属病院産婦人科

坂本智子、青木里美、遠藤直生子、阿久津由香、小林浩一、石原 理、
金子やす子、桜井和美、島田雅子

育児支援・産褥指導(15:15~15:57)

座長 小田切房子(埼玉県立大学短期大学部)

20) 当センターにおけるフォローアップ外来の実際

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

船江玲子、本間真紀、白石道子、松本幸子、斎藤正博、馬場一憲、竹田 省

21) 当NICUにおける超低出生体重児の母乳栄養についての取り組み

埼玉県立小児医療センター

山下みゆき、株崎雅子、須田和子

22) 心肺停止蘇生後の経口哺乳確立への援助 - 母親への関わりを通して -

川口市立医療センター

川上こずえ、赤坂朝子、金井幸代

23) 分娩直後のカンガルーケア ~産褥早期の育児行動に及ぼす影響~

防衛医科大学校病院産科病棟

皆川亜美、上村志津子、晴山路子、藤本真由子

24) 「愛着が弱い」幼児の母子関係を吟味する - 12カ月健診後の取り組み -

こうぬまクリニック¹⁾、木野産婦人科医院²⁾、慈恵医大柏病院³⁾、さいたま市立病院⁴⁾

鈴木仁史¹⁾、嵯峨芳子²⁾、相原由香²⁾、古川はるこ¹⁾³⁾、茶谷明子¹⁾⁴⁾、
木野秀郷²⁾

25) 新生児訪問指導の現状と今後の課題

川口工業総合病院産婦人科病棟

桐原まち子、町田志帆子、栗原多美子、小島諸子

3. 総会(15:57~16:07)

- 1) 平成14年度埼玉県母性衛生学会収支決算について 林 雅敏 理事
- 2) 監査報告 佐藤辰之 監事
- 3) 平成15年度埼玉県母性衛生学会収支予算(案)について 林 雅敏 理事
- 4) 埼玉県産婦人科医会会长挨拶 柏崎 研 様

4. シンポジウム(16:07~18:07)

テーマ「妊産婦死亡第3位の埼玉県の現状・問題点とその対策」

座長 搬送依頼施設代表 柏崎 研(有床診療所)
座長 受入施設代表 栢木 武一(地域周産期)

- 1) 妊産婦死亡の現状
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター
産婦人科教授 竹田省
- 2) 行政のこれまでの体制整備と今後の課題・取り組み
埼玉県健康福祉部医療整備課
課長 宮山徳司
- 3) 助産所の安全対策
中島助産院
院長 中島桂子
- 4) 搬送依頼施設の立場から(有床診療所開業医)
平田クリニック
院長 平田善康
- 5) 受け入れ施設の立場からの安全対策と問題点
さいたま市立病院地域周産期母子医療センター
所長 福井谷達郎

6) 受入施設の立場から (総合周産期施設)

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター
産婦人科 木下二宣

5 . 閉会

馬場一憲理事

一般演題の講演時間は1題につき発表5分、討論2分です(時間厳守のこと)。

スライドプロジェクター、液晶プロジェクター及びパソコンを各1台ご用意いたしますが、ご使用いただく機材はスライド又はパソコンといたします。

一般演題のスライドは1題につき10枚以内(1面映写)でお願いいたします。

産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講10単位シール及び日本産婦人科医会研修受講シールを発行します。

学会会員は、参加費及び年会費として、合計2,000円を当日頂戴します。

学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000円を当日頂戴します。